



かみすげた

平成 31 年 1 月 31 日
横浜市立上菅田小学校
学校だより 1 月号

上菅田小学校 学校教育目標
心かがやく上菅田の子ども

か	上菅田の「まち」を知り、地域とともに活動しよう	(公)
み	みんなも自分も大切に、社会に貢献しよう	(徳)
す	すてきな日本を学び、世界で活躍できる人になろう	(開)
け	元気な心と健康な体を作ろう	(体)
た	楽しく学び、のびのびと表現しよう	(知)

「チーム上菅田」の勝利目指して

学校・家庭・地域の連携・協働を軸に！

校 長 縣 利一

1月26日(土)は午後4時過ぎから8時過ぎまで、テレビにくぎ付けでした。大相撲初場所では、横綱稀勢の里の引退に始まり、二人の横綱も休場し、さらには大関陣の成績不振。その中で関脇貴景勝が、優勝した先場所に続く勢いで勝ち星を重ね10勝3敗、同じく関脇玉鷲が11勝2敗、優勝候補筆頭で14日目を迎えました。平成最後の初場所において相撲界に新しい風が吹き始めている予感がします。そして、5時半過ぎからは、全豪オープンテニス女子シングルス決勝が始まりました。大坂選手の日本人初の決勝進出、そして優勝。にわかテニスファンの私ですらその快挙に大喜びをしたのですから、テニス経験者や四大大会の意味を知るファンの方の感動はそれこそ大きなものに違いありません。その日は、感動と興奮で、なかなか寝付けませんでした。

テニスは個人対個人の勝負です。ですから、選手自身の努力や結果について話題になることが多いようです。その日の速報や翌日の新聞やテレビのニュースも、大坂選手の全米オープンからのグランドスラム連覇やそれに伴う世界ランキング1位の報道しかりです。しかし、大坂選手の優勝直後のインタビューでは、第一声は激闘を繰り広げたクビトバ選手とそのチームへのリスペクト、次に自分のチームへの感謝の言葉が同時通訳されていました。テニスの試合での「チーム」という言葉にとっても新鮮な感動を覚えました。チームプレーとは、集団で戦うゲームにおいて、それぞれのポジションの役割を果たし、仲間がミスをしたカバーしあい、勝利を目指して全員でプレーをすることとして理解しています。ラグビーやサッカー、バスケットボール、野球などはまさにそうです。したがって、コートに立つと一人で戦うテニスは、チームで戦うスポーツとは違うイメージです。大坂選手が言うところの「チーム」とは、どういう意味なのでしょう。

「チーム」を辞書で調べると、「共同で仕事をする人々の集まり」となっています。そこにチームの目標である「勝利」が加わることによって、コーチやトレーナーなどそれぞれの専門家が、単に選手を支えるだけでなく、協力して働く(=「協働」)ことになっていくのだと思います。最高のパフォーマンスを大坂選手が発揮できるように協働していく仲間のことを「チーム」と表現したのだと思います。戦いはコートに上がる以前から、すでに始まっているのです。そういう意味では、「協働」というキーワードで括られないチームでの仕事や勝負事はないといえるのではないのでしょうか。

私は、学校をチームとして考えることで「協働」という発想で教育活動を行う大切さを痛感します。「協働」には、次の五つの要素が必要だといわれます。

- 1 目標の共有
- 2 対等性
- 3 専門性
- 4 相互理解
- 5 自主性・自立性

学校には、教諭、養護、栄養、事務、用務、調理を担う職員がおり、全職員が対等でありそれぞれが専門分野をもち、お互いの仕事について尊重し相互理解をすることによって協力しあえる人間関係ができます。そして教育目標達成に向かって自主的に仕事をします。大切なことは、それぞれの責任を担っている全職員が、やりがいをもって力を出しきってける職場環境であることです。そのためには、学校教育目標をそれぞれの職種やキャリアに応じた具体的な目標に置き換え責任をもって実践していくことが必要です。

しかし、これだけでは学校教育は完成しません。保護者、地域の願いが反映されないからです。では、保護者、地域の願いが反映されるためにはどうあればいいのでしょうか。それは、保護者の組織PTAと地域学校協働本部(サポート事業運営委員会)と学校運営協議会が機能することです。上菅田小学校にはすべてそろっており、学校を含めたこの四つの組織を合わせて、「チーム上菅田」と私は考えています。30年度もあと2か月。「チーム上菅田」の勝利を目指してこの四者が連携・協働していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

2月の生活目標

- 生活：寒さに負けず元気にすごしましょう
(外に出て元気に遊びましょう)
- 給食：寒さに負けないように
工夫して食事をしましょう
- 保健：姿勢を正しくしましょう

授業参観・学級懇談会

今年度最後の授業参観・学級懇談会です。4年生は「かがやき発表会」、6年生は「卒業を祝う会」をします。各学年で日時等が異なりますので、後日配付されるプリントでご確認をお願いいたします。また、各教室のカーテン洗濯のご協力をお願いしたいとPTA保健成人委員さんからお話がありました。ご協力いただける方は授業参観・懇談会名簿のカーテン洗濯欄にご記入いただくか、担任まで直接連絡をお願いいたします。

やまゆり級合同学習発表会

2月27日(水)に保土ヶ谷公会堂で「横浜市小学校個別支援学級合同学習発表会」が行われます。やまゆり級の子もたちが、日頃から練習している皿まわしやディアポロなどを発表します。2月21日(木)の集会で発表を行います。



市学力・学習状況調査

全学年対象の調査です。2年生以上はものさし等使用する算数用具があります。学年により、使う用具や調査する教科が違いますので、学年だよりをご確認の上、ご準備をお願いいたします。
2月7日(木) 国語、理科、生活学習意識調査
2月8日(金) 算数、社会

新1年生保護者説明会特別時程

新1年生保護者説明会のため、全学年給食終了までは短縮時程です。1年生は12時45分に下校、他の学年はいつもより長く昼休みと掃除の時間をとって、5時間目からは通常時程です。

スクールカウンセラー来校日

保護者、児童、教職員の相談を受け付けます。お気軽に担任か児童支援専任の河野までお申し込みください。原静カウンセラーが担当いたします。
2月 5日(火) 8:45~12:10
2月14日(木) 8:45~12:10
2月22日(金) 8:45~12:10

人権週間の取り組み

『障害がある方々の話を聞き、障害者の方の置かれている状況や思いを理解する中で、「思いやりの心」や「かけがえない命」についてもう1度考える。』ことをねらいとして、人権週間（人権週間は、毎年12月10日を人権の日とし、その前の一週間を指します。）に、学年ごと様々な取り組みを行いました。この活動をきっかけとして、相手の立場に立って考えることについて、一人ひとり振り返ることができたと思います。

1年生

他者理解学習

人権擁護委員の方のお話や人権まもるくんのDVDを見て、身近にいる人にどんな気持ちをもって接すればよいかについて学習しました。



2年生

聴覚障害理解学習

聴覚障害の方から、手話を教わり表現することを楽しみました。いろいろな人が暮らしていることに気づき、相手を思いやる気持ちを学びました。



3年生

肢体不自由理解学習

肢体不自由の方に来ていただき、写真を見たり、車イスに乗ったりする活動を通して、相手の立場に立ち、人を大切にする気持ちを学びました。



4年生

視覚障害理解学習

視覚障害の方から、さまざまな道具を活用しながら、工夫して生活している話を聞きました。丁寧に質問に答えていただき、視覚障害の方に対する理解を深めました。



5年生

認知症理解学習

オレンジロバの会の方から、認知症についてのお話を聞きました。劇などで理解を深め、認知症の方、その家族の方の気持ちを考えました。そして、自分たちができる支援について学習しました。



6年生

他者理解学習

NHKの番組を視聴し、いじめについて学習しました。日頃の友達とのかかわり方を振り返り、友達同士だからこそ大切にしなければならないことについて話し合いました。



校内書き初め展

1月15日（火）～25日（金）に、校内書き初め展を行いました。1・2年生はフェルトペン、3年生以上は毛筆の作品を掲示しました。年の初めにすがすがしい気持ちで一生涯懸命に書きました。

各学年の作品、学習のねらい

< 1年生 >



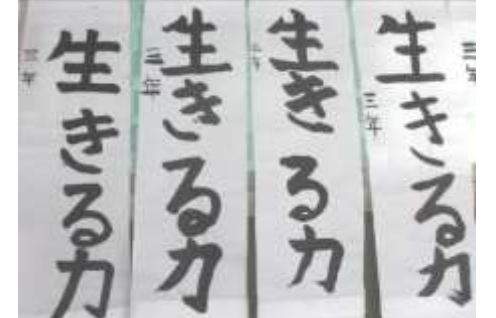
初めての書き初めです。とめ、はね、はらいに気を付けて書きました。

< 2年生 >



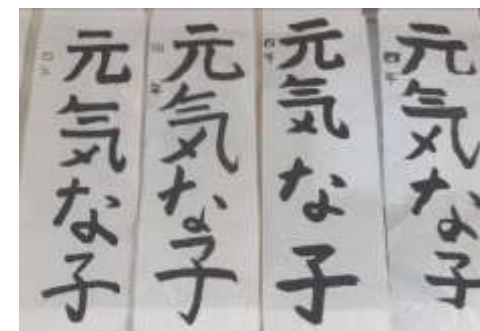
文字の形や書き順に気を付けて、心をこめて、いねいに書きました。

< 3年生 >



筆使いに気を付けて、気持ちを込めて、力強く、ていねいに書きました。

< 4年生 >



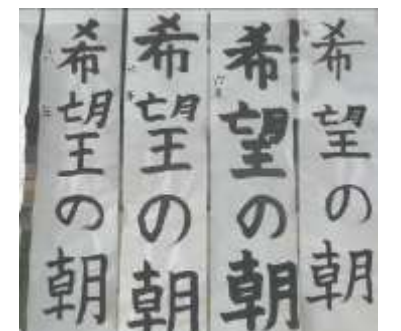
筆使いや字形の整え方、文字の大きさ、配列などに気を付けて書きました。

< 5年生 >



文字の形、漢字と仮名の大きさ、配列などに気を付けて書きました。

< 6年生 >



筆使いや字形、文字の大きさ、配列などに気を付けて書きました。